

## 日高北部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合日高北部分会）

### 議 事 要 旨

1 日 時 令和3年3月11日（木） 17：30～18：30

2 場 所 日高北部森林管理署 会議室

3 出席者 日高北部森林管理署 橋爪 一彰 署長  
中村 峰明 次長  
前田 悟 総括事務管理官

全国林野関連労働組合 名田 興生 執行委員長  
日高北部分会 新山 朗生 副執行委員長  
深川 勝彦 書記長  
小菅 尊祐 執行委員

#### 4 交渉事項

- （1）事業実行等に係る勤務条件の確保について
- （2）職員の安全確保について

#### 5 議事概要

当局） 只今から、全国林野関連労働組合北海道地方本部日高北部分会より先般申し入れのあった交渉を始めさせていただく。あらかじめ予備交渉で、交渉時間、交渉項目等を整理していることから、それに基づき進行いただくようお願いする。

組合） 空席ポストが解消されないことから、職員一人に係る業務量が増加し、各担当の負担も増えている。空席ポストの解消及び係員を配置すること。

当局） 空席ポストについては、署の業務実態を局に伝え、空席ポストの解消の要望とともに、非常勤職員の確保を求めていく考えである。

また、管理監督者が役割と責任を持ち、グループ制を有効に機能させ、一部の者に過度の負担が生じないように努めていく考えである。

組合） 今年度は森林整備事業予算が増加し、業務量が増えたことから、過度な負担となった職員がいる。管理監督者が責任をもって、職場環境の改善や職員のケア等を行うこと。

当局） 職員に過度な負担が生じないように、管理監督者が職員一人一人の置かれている状況を把握し、ストレスとなる要因の排除とともに、目配り・気配りによる職員のフォローとケアに努めていく考えである。

組合） 定時退庁日については、空席ポストが解消されないことから、業務に追われ、定時での退庁が「厳しい」との意見がある。管理者として職員の執務状況を日々把握し、フォローや配慮を行うとともに、休暇の取りやすい職場とすること。

当局) 管理者が日頃から職員一人一人が業務で置かれている状況を把握し、職員への適切なフォローや配慮をしていく考えである。

また、職員が休暇を取得しやすい職場となるよう、管理監督者が率先して職場の雰囲気づくりに努めていく考えである。

組合) 林道入口に種々な看板が設置され、狩猟入林者等が理解しづらい状況にある。

職員等の安全確保のため、入林者等が情報を的確に確認できるよう分かりやすい看板を設置すること。

当局) 入林者に注意事項等が適切に伝わるよう、入林者の多い主要路線などの入口付近については、掲示板の設置を検討するとともに、予算の確保に努めていく考えである。